

ランサムウェア・インシデント 発生時の組織向けガイダンスが発出

第4回カウンターランサムウェア・イニシアティブ（CRI）会合（※）において「ランサムウェア・インシデント発生時の組織向けガイダンス」が発出

※ CRIとは？

ランサムウェアに対する国際連携をテーマに、米国の提案により令和3年に設立された多国間会合であり、日本を含め68ヶ国・機関が参加している。



ガイダンスにはどんな内容が記載されているの？

ガイダンスの概要については以下のとおりです。



経営者

ガイダンスの概要

- ランサムウェア・インシデント発生に備えて、**事業継続計画（BCP）**を作成する
- ランサムウェア・インシデント発生の際は、**できるだけ早い機会に当局（警察）へ報告する**
- 攻撃者に**身代金を支払うことは顧客の機器やデータへのアクセスを保証するものではない**点に留意する
- インシデントの根本原因を究明し、**攻撃が繰り返されないための準備**をする
- リスク管理の1つの手法として、サイバー保険を紹介

※ 詳細は下記URLをご確認ください。

【参考】NISC「STOP! RANSOMWARE」ガイダンス仮訳

https://www.nisc.go.jp/pdf/press/CRI_Insurance_Guidance_kariyaku.pdf

ランサムウェアって最近よく聞くから私の会社も気をつけなきゃ！

経営者

万が一、被害に遭ってしまったら警察に通報・相談を！

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口 ➡

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>



◆ 全国的にランサムウェア被害件数が高水準で推移しており、企業・団体・業種を問わず発生しています。

◆ 福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策などをX（旧Twitter）やホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【X】
旧 Twitter



【HP】

